

SHARP XE-A270/280 対応 レジスター商品設定ツール

(DSAS_PLU)

レジスター商品設定ツール(DSASPLU)はパソコンで作成した商品データからXE-A270, 280が
読込可能なメモリーカードを作成します。

SHARP XE-A270/280 対応
レジスター商品設定ツール 操作マニュアル抜粋

2010年5月 MR 1.00

許可なく本マニュアルのコピー転載はお断りいたします。

有限会社 エーアールウェーブ

埼玉県熊谷市久下2-163-103

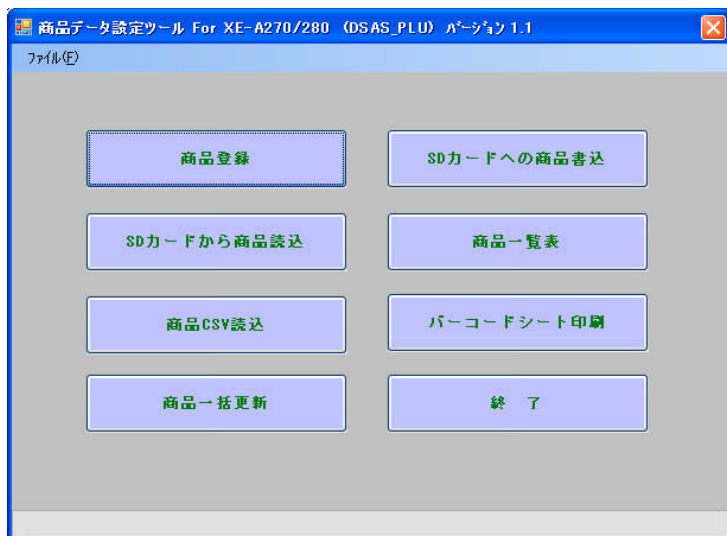
TEL 048-529-1467

FAX 048-529-1466

<http://www.arwave.co.jp>

メニュー画面

機能が配置されています。機能のボタンをクリックして実行します。



【商品登録】

商品コード、品名、売価などを入力して商品を登録したり、変更をしたりします。

【SDカードから商品読込】

レジスターで作成したSDメモリーカードの商品データを読み込み本システム内に商品データを作りだします。既にレジスター内に商品が登録されている場合や、ソフトを新たにインストールした場合などに利用します。

【商品CSV読込】

レジスターに登録すべき商品データが別のシステムなどにあり、指定のCSVの形式のデータが作成できる場合、そのCSVデータを読み込むことができます。

【商品一括更新】

ソフト内の商品データの項目を一括で変更します。単価1と単価2を入れ替えるなど。

【SDカードへの商品書込】

本システム内に登録されている商品データからレジスター読み込ませる商品設定データをSDメモリーカードに書き出します。

【商品一覧表】

本システム内に登録されている商品データの部門別一覧表を印刷します。

【バーコードシート印刷】

JAN13 PLUタイプの商品の商品名、バーコード、単価をA4用紙に印刷して、レジスターの隣に置いてスキャニングしたり、少量のバーコードラベルを作成するのに使います。

商品登録

商品を登録します。売上の基本となるデータです。基本的には、商品コード、商品名、売価のデータです。

変更したい行をクリックすると変更モードになります。

削除する場合は、リストを右クリックすると削除できます。但し、レジスターでは削除されません。

- (1) 商品コードを入力します。既に登録されている商品は変更モードになり、ない場合は追加モードとなります。表示されているリストの行をクリックしても変更モードとなります。
- (2) この商品が属する部門を選択します。
- (3) 商品名を入力します。(漢字換算で8文字、英数カナ換算で16文字まで)
- (4) 単価を入力します。
- (5) 必要があれば単価(2)を入力します。 利用方法【商品一括更新】を参照
- (6) 入力タイプを選択します。プリセットかオープンかの指定をします。13桁JANの場合はプリセットを選択して下さい。オープンにすると1、2、3などのPLUコードの場合、単価入力して売上ができます。
- (7) まとめ値引きの商品であれば、予め設定してあるまとめ値引き番号を選択します。同じまとめ値引き企画の商品が条件の数量になるとまとめ値引きが行われます。(3つで200円など)
- (8) レジスターの機能で、指定期間動きのない商品削除することができます。

書 込

1商品毎にクリックして書込みます。

書込みされた商品には内部的に「変更マーク」が付きます。

商品登録における削除について

この商品登録時に削除された商品はパソコン内のデータベースからは削除されますが、レジスターからは削除されず、ずっと残ることになります。これは、SDカードを使ったインターフェースの仕様によるもので、SDカード書込まれたデータをレジスターで読込んだ際、既にレジスター内にあるものは読込んだ内容に変更され、ないものは読込んだ内容で追加されます。つまりこの方法で削除する機能はありません。レジスター内の商品を削除するには、レジスターで部門指定で削除するか、削除対象にして、未変更、未稼働で、削除期間を過ぎればレジスターの機能として削除できます。

商品コードについて

PLUコード

1や2、123などの番号で、売りをあげる。(通常は売価プリセットだがオープンも可能)

JANコード

ソースマーキング

商品に印刷されている管理されたコード (売価プリセット)

インスタマーキング

自社内で使う自家製コード (売価プリセット)

PLUタイプ

レジスターに登録された売価で売り上げるコード

Non PLUタイプ

バーコード内に埋め込まれた売価で売り上げるコード

コードの種類によって性質に違いがあります。

1から999などの番号で売上げる連番PLUコード。販売する時にその商品が何番かわかる必要があり、飲食店など品種がすく少ないか、ラベルやタグに番号が印刷されている場合に利用されます。

491234578012のようなもともと商品に印刷してある一般的なバーコードで、ソースマーキングといわれ殆どの商品につけられています。このコードはメーカーが(財)流通システム開発センターに届けて管理されているコードで重複することはありません。レジスターにそのまま設定して使うことができます。これ以外に自社内でつかうインスタマーキング(自家製)があります。基本的には自社内で使用するコードで、ある程度自由につくることができますが、バーコードを読み取るレジスターにより制限があるので注意が必要です。このタイプはレジスターに記憶された売価で売り上げるPLUタイプとバーコードのコードの中に売価が埋め込まれたNon PLUタイプがあります。PLUタイプの場合は、ソースマーキングと同じように使用でき、レジスター内の売価を変更するとバーコードはそのまま売価を変更することができます。Non PLUタイプの場合、バーコード内に売価をもっていますので、売価を変更する場合はバーコードを貼りかえる必要がありますが、同じ種類の商品も重量や大きさなどにより別々の値つけをすることができます。比較的早く販売してしまう生鮮品などに多く使われています。例をあげると0201035101919は実際にスーパーでの豚肉のラベルにあったコードですが191円の商品です。この商品のコードは、実際の価格部分は000000で設定され、0201035000000で商品名は豚肉こま切れです。このようなコードの性質の違いはレジスターなど読み取り側で行われますが、コードの先頭2桁の識別コード(フラグ)により識別され、指定された動作を行い売り上げます。

PLUタイプのJANコード

4562169500075 ではFFMMMMMXXXXXC

FFはフラグ(識別コード)はソースマーキングでは国、MMMMMXXXXXはメーカーコードと商品コードで構成されています。Cはチェックディジットと言って他の12桁をモジュラス10という計算方法で計算した結果のデータで読み取り間違いを防ぐものです。インスタマーキングでは2900370000588などはFFMMMMMMMMMCかFFMMMMMSSSSSCの構成です。フラグ(識別コード)と呼ばれ29はインスタアであることを示します。フラグ、CD以外のは10桁フリーで自由に使えるのですが、通常はMMMMMに分類コードSSSSSに商品の商品番号のようにして、バー下数字をみてどういう商品が見当がつくようにするのが一般的です。基本は13桁でフラグとチェックディジットが正しければ良いこととなります。

商品登録の商品コードの入力の際、13桁目には0を入力して下さい。チェックディジットを計算し、入力されます。チェックディジットが判っている場合はそのまま13桁入力し、13桁目が変われば入力間違いがあることとなります。ここで入力された商品をバーコードシート作成で印刷すると、リーダーで読み取りできます。

Non PLUタイプのJANコード

フラグ02がレジスターにNon PLUと指定してある場合の例

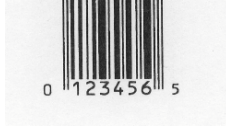
0201035101919 FFMMMMMPPPPPC

Non PLUタイプの場合にはMMMMMに商品の分類やメーカーなどを埋め込み、PPPPPに価格を埋め込みます。そして、構成によってはCPPPP価格桁の1桁目にプライスチェックディジットを持つものもあります。フラグ02がレジスターにNon PLUと指定してある場合、売り上げ時にレジスターではMMMMMでレジスター内の商品を検索して品名を表示しPPPPPの金額で売上げます。実際のコードは02MMMMM000000ということになります。レジスター内、ソフト内では価格部分はゼロとして処理されますので、Non PLUタイプのコードは、商品コード入力時 02MMMMM000000のように金額部分をゼロ入力してコード入力して下さい。

例) 0200001001886 のバーコード、分類コード00001、価格188円のような場合の商品コードは → 0200001000000となります。MMMMMは部門+連番などで構成し、バー下数字をみてどういう商品が見当がつくようにするのが一般的です。

UPC-Eコードについて

アメリカのバーコードで UPC-A (12桁) とその短縮型 UPC-E (6桁) がありますが、アメリカのたばこなどに使われています。この UPC-E コードだけはバー下数字をそのまま扱うのではなく長いバーの内側の6桁のみを商品コードとお考え頂き商品コードの欄には6桁のみを入力して下さい。



- ・ アメリカ、カナダの商品のみに使われているコードです。

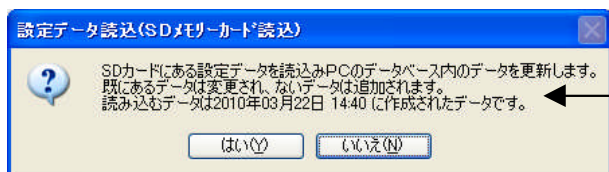
まとめ売りについて

まとめ売りの企画が指定されると、同じ企画コードのものが、まとめ数量に達するとまとめ金額で販売されます。

商品一覧表

登録されている商品の一覧表を出力します。部門別に分類、商品コード順に出力します。

商品一覧表		部門 04					
コード	商品名	単価	単価(2)	まとめ	削除	タイ°	変更
0433333333338	ヒ°チメルパ°	800	0	00	○	2	
0435555555550	マロンメルパ°	800	0	00	○	2	
2012040000000	パンタマア°ルーフ°スト	3,800	0	00	○	2	○
2018040000000	ハ°ア°ライター	370	0	00	○	2	○
4539359450038	カラー根付	320	0	00	○	2	○
4539359450045	カラーワンタツ	320	0	00	○	2	○
4539359450052	サイコロミス	360	0	00	○	2	○
4539359450069	ミニ°ラチェ	360	0	00	○	2	○
4539359450076	皮ヒ°ース°	420	0	00	○	2	○
4539359450083	トンホ°玉スト	420	0	00	○	2	○
部門内件数 (10)							

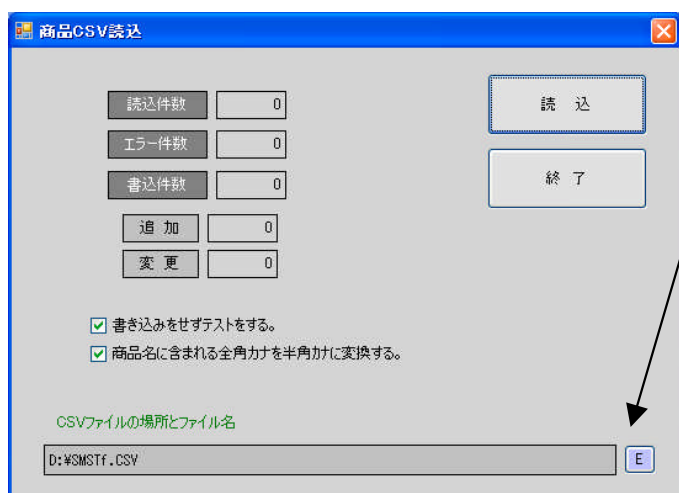


SDカード内の商品設定データの更新日が表示されますので、間違ったものを読込まないように確認して下さい。

データベースに存在するデータの場合はレジスター内のデータで上書きされ、存在しないものは追加されます。追加の場合、レジスターからの取得できるデータ以外、たとえば仕入先コードなどは初期的な内容で生成されます。

商品CSV読込

商品のCSV形式データを読み込み、データベース内に商品データとして書込みます。初期設定のNONPLUのタイプはあらかじめ正しく登録されている必要があります。商品コードの存在するものは変更となり、存在しないものは追加されます。



CSVファイルを指定して【読込】をクリックします。

商品名に含まれる全角カナを半角カナに変換する。

チェックがある場合は全角を半角に変換して、取り込みます。全角は半角の2文字分のデータなので、商品名は半角換算16文字なので文字数を稼ぐことができます。

書き込みをせずテストをする。チェックがある場合は、読込テストのみでデータは書込まれませんが、除外されたデータは確認できますので、一度テストしたあと、チェックをはずし本番読込みして下さい。

商品コード, 商品名, 部門コード, 単価 改行

↑ カンマで区切られ項目順があっていて4項目であること。

読込むデータには制限があります。(読み込めるのはPLU連番とJANコードのみです。)

- 1から99999までのPLUタイプのコードを持つもの。
- 13桁の数字列でJANコードの形式のもので、識別コード(フラグ)が正しく、チェックデジットが正しいもの。
(但し、NONPLUタイプに設定されている場合は、チェックデジットは無視し、そのまま処理します。
NonPLUはレジスター内部では金額部がゼロのためCSVデータも金額部分はゼロで埋めてある必要があります。)
- 部門コードが01から20の範囲であること。
- JAN8、UPC-Aタイプのコードは先頭をゼロで埋めた13桁であること。
- 同じ商品コードのデータがある場合は後のもので上書きされます。
- UPC-Eタイプのコードは読込できません。

CSVデータの例

4, P L U 4, 01, 198	←	0000000000004 PLUタイプとして登録されます。
0000000000005, P L U 5, 01, 198	←	0000000000005 PLUタイプとして登録されます。
0000045010804, "TYソルマツク", 02, 372	←	8桁JANタイプとして登録されます。
4902407020314, "H. アイスソフト", "02", 1429	←	13桁JANタイプとして登録されます。
4902551059536, 月島もんじゃ焼, 01, 98	←	13桁JANタイプとして登録されます。
4902551059535, 月島もんじゃ噓, 01, 98, 57	←	チェックデジットが合っていないのではじかれます。
0000001234567, aaaaaaaaaaaaaa, 01, 123, 100	←	チェックデジットが合っていないのではじかれます。
0000049753233, bbbb, 01, 1589	←	8桁JANタイプとして登録されます。
0200100000000, NONPLU1, 02, 555	←	02がNONPLUに指定してあれば、チェックデジットを無視して登録されます。
0200100000000, NONPLU2, 09, 555		NonPLUに指定されていないとはじかれます。
02796527, KENT CHACOL, 09, 380	←	但し、同じコードがもう1件あるので NONPLU2が上書きされます。 UPC-Eは読み込めません。
49401158, "Mi ldSeven ", 02, 300	←	13桁でないので読み込めません。0000049401158は読み込めます。

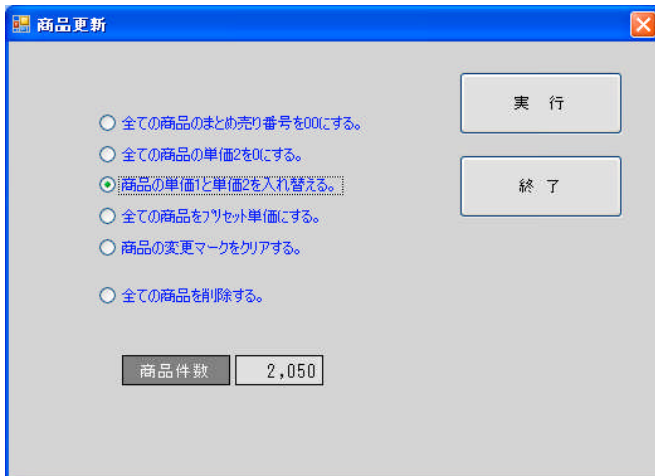
詳細

正しくないデータがある場合は、(詳細)ボタンが表示されます。
クリックすると正しくないデータで除外されたものがある場合は、エラー内容を確認できます。

CSVデータから取得できるデータ以外(入力タイプ、削除対象)は初期設定で指定したデータで作成されます。また、読込まれ追加、変更された商品は[変更マーク]がつき、追加変更分となります。

商品一括更新

データベース内に存在する商品に対して一括して値を変更します。



全ての商品のまとめ売り番号を00にする。

まとめ売り番号が00でない商品のまとめ売り番号を00にします。ここで入れ替わった商品は[変更マーク]が付きます。

全ての商品の単価(2)をゼロにする。

商品には本来の単価とは別に単価(2)をもっていますが、この内容は商品登録で個別に入力できます。全ての商品のこの内容をゼロにします。

商品の単価と単価(2)を入れ替える。

単価(2)の値がゼロでないものは、単価と単価(2)を入れ替えます。単価の一括変更を行うこととなります。[変更マーク]が付きます。

これは、単価(2)が入力されているものだけ、単価と入れ替えますので、単価がゼロでないか、途中で変更しない限り、2度入れ替えると元にもどります。一括単価変更、特売単価に利用できます。ここで入れ替わった商品は[追加変更分]となります。この内容は【ファイル】商品登録-商品一覧表で確認できます。

商品の登録タイプをプリセットにする。

全ての商品の登録タイプをプリセットにします。[変更マーク]が付きます。

商品の変更マークをクリアする。

全ての商品の変更マークをクリアします。
【商品登録】などでその商品が追加変更された場合、[変更マーク]が付きますが、それをクリアします。
通常はSDメモリーカードを作成したときにクリアします。

SDカードへの商品書込

データベースに登録されているデータから、レジスター設定用のSDメモリーカードを作成します。

商品全件	305
追加変更分	1

商品

変更分か全件かを選択します。【商品登録】や【商品変更】で追加・変更されたものが変更分です。但し、レジスター内の商品削除はこのソフトからはできませんので、レジスター側で行って下さい。

コマースシャルメッセージ

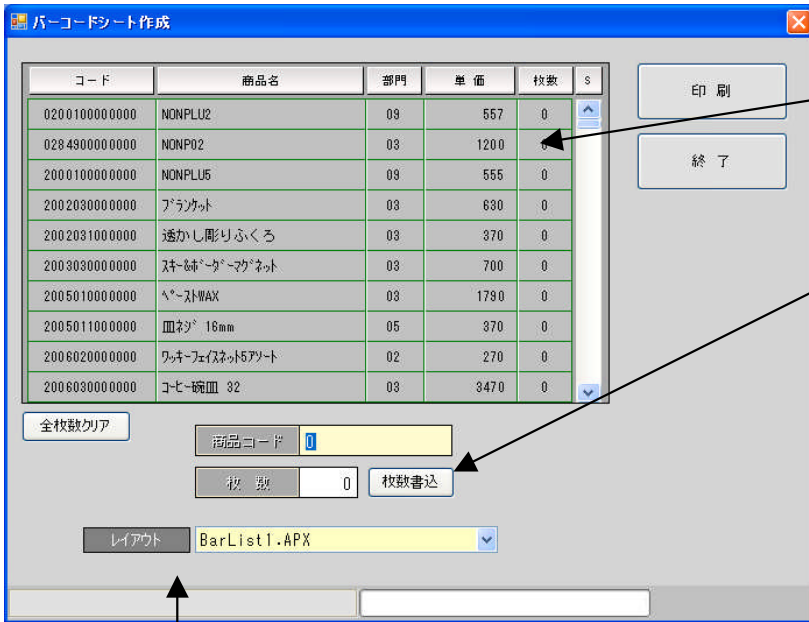
画面に表示されているメッセージ(変更可)が作成されます。印字のされ方は、レジスタで設定-各種設定でヘッダ、フッタの設定で指定します。

変更分の商品のデータを作成する。

【商品登録】、【商品変更】、【商品CSVデータ読込】で追加、変更された商品には変更マークがセットされます。この分のみ設定データを作成し、作成後、変更マークはクリアされます。通常はこちらを選択して下さい。

バーコードシート作成

通常のプリンターでA4の用紙にバーコードを印刷します。レジスターの隣に置いてスキニングしたり、少量のバーコードラベルを作成するのに使います。

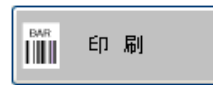


リストを左クリックすると1枚入力されます。右クリックすると0枚になります。2枚以上の指定は、枚数入力後、枚数書込して下さい。

複数枚指定したい場合は枚数を入力して

枚数書込

をクリックします。



【印刷】をクリックするとプレビューを出力します。

レイアウトを選択します。

BarList1.APX 3X8 24枚/ページ
BarList2.APX 4X11 44枚/ページ

全枚数クリア

【全枚数クリア】をクリックすると全ての枚数がゼロになります。また、終了時にも枚数をクリアするか問合わせます。

JAN13 PLU型のみ印刷できます。チェックディジットが合っているものは、無条件にJAN13として出力しますので、正しいもののみ選択して下さい。NonPLUなどチェックディジットが合っていないものはバーの印刷はされません。

使用するプリンターはできるだけ精細なもので、用紙はジミの少ないものを使用して下さい。また、プリンターによってバーコードの大きさが異なります。【初期設定】のバーコードサイズを調整して3cm程度になるように調整して下さい。

<p>入施料 (大人)</p> <p>DP[03]</p> <p>2900110000021</p> <p>4,000 円</p>	<p>入施料 (小人)</p> <p>DP[03]</p> <p>2900110000038</p> <p>2,000 円</p>	<p>入施料 (女性)</p> <p>DP[03]</p> <p>2900110000045</p> <p>2,200 円</p>
<p>入施料 (大人)</p> <p>DP[04]</p> <p>2900110001059</p> <p>5,000 円</p>	<p>入施料 (小人)</p> <p>DP[04]</p> <p>2900110001088</p> <p>2,000 円</p>	<p>入施料 (学生)</p> <p>DP[04]</p> <p>2900110001073</p> <p>3,000 円</p>
<p>ア→STONA-G</p> <p>DP[08]</p> <p>2900250000042</p> <p>580 円</p>	<p>ア→STONA-Y</p> <p>DP[08]</p> <p>2900250000059</p> <p>580 円</p>	<p>ア→STONA-Y</p> <p>DP[08]</p> <p>2900250000088</p> <p>580 円</p>
<p>ゲロ→ N</p> <p>DP[08]</p> <p>2900250001874</p> <p>1,890 円</p>	<p>ゲロ→</p> <p>DP[08]</p> <p>2900250001881</p> <p>2,630 円</p>	